



紙面デザインの變遷

2ページに掲載した4つの紙面は、過去の広報のぼりべつの表紙です。市は、より見やすい紙面づくりを目指し、紙面の構成やデザインなど、さまざまな見直しを行っています。ここでは、その一例を紹介します。

広報紙のサイズの変更

広報のぼりべつの前身『幌別町政だより』が刊行されたのが昭和26年9月。当時はB4判1枚で不定期発行でした。その後、昭和37年5月からB5判の冊子とし、さらに、多く情報を掲載するともにより見やすい紙面を目指し、昭和50年4月から現在と同様のA4判の冊子にしています。



▲昭和50年に行った紙面サイズの変更

見やすい記事づくり

広報のぼりべつ1990年（平成2年）5月1日号から活字を大きくし、より読みやすい紙面を目指しました。毎月、巻頭に掲載している『特集』については、市民生活に関わる情報のうち、特に知っていたきたい情報を詳しくお知らせするた

め、一般のコーナーよりページを割き、写真や図表などをできるだけ使い、見やすく分かりやすいよう紙面組みをしています。

2003年（平成15年）1月号からは、月2回の発行から月1回発行に変更し、毎月のお知らせを1冊に

集約しましたが、市民の皆さんに周知すべき情報の掲載に不足がないよう、さまざまな記事をお伝えして

表紙の工夫

表紙は、広報紙の顔です。多くの方に広報のぼりべつに興味を持っていただき、手にとってもらうことができるよう、表情豊かな市民の姿や季節を伝える風物詩ともいえる事業などの写真を表紙に掲載しています。また、2000年（平成12年）5月1日号からは、広報のぼりべつに親しみをもってもらえるよう、タイ

活字の大きさの変更

のぼりべつ（昭和40年当時）



のぼりべつ（現在）

色合いの変更



▲2000年（平成12年）5月1日号から使用している表紙のタイトルロゴ

トルロゴを作成し掲載を開始。以降、現在まで表紙写真を全面に掲載し、同一のタイトルロゴを使っています。

刊行当初は黒色のみを使っていたゆるモノクロ印刷だった広報のぼりべつ。現在のように2色刷りにしたのが、1990年（平成2年）5月1日号のことで、当初は、黒色と桃色の2色を使っていました。2000年（平成12年）5月1日号からは、橙色が、目に優しく見やすく温かみのある色であるとの考えから、橙色と黒色の2色刷りに変更。現在も同じ色を使っています。

広報コンクールへの参加

日本広報協会や広報広聴技術研究会実行委員会などが開催する広報の

コンクールに参加しています。広報のぼりべつに対する客観的な評価を確認することで、より良い紙面づくりを目指しています。

1999年（平成11年）2月1日号では、表紙写真（2ページ右下に掲載）が、全国広報コンクールにおいて「一枚写真の部」で特選に次ぐ「入選1席」に選ばれました。

北海道広報コンクールにおいては、これまで何度も特選や入選に選ばれており、直近では、2016年（平成28年）8月号が『広報誌（紙）市の部』で入選を果たしています。

その他の取り組み

表紙のロゴだけに限らず、各コーナーにおいて専用のタイトルロゴなどを設け、市民の皆さんに親しみを持ってもらえるような紙面を目指しています。

また、実際に広報のぼりべつを読む人の目線からのアイデアを紙面作りに取り入れるため、毎年、市民の皆さんから広報モニターを募集し、広報紙面に対する意見を提供していただく取り組みも行っています。

